

中央区生活支援推進員訪問記 令和3年度 VOL.5

今回は、東地区にある北海寺で、毎週木曜日に行われている「おちゃのま」という名称の寺子屋にお邪魔してきました。この日は「まん延防止等重点措置」期間の前だったこともあり、感染対策を十分に行い屋外で地域食堂を開催していました。

しかしながら、生活支援推進員がお邪魔した時間はタイミングが悪く、開催準備中で器具の設置や子どもたちが元気に走り回っている光景でしたが、地域食堂というイベントに、いつも以上に活気に満ち溢れていました。



地域食堂準備の風景（左）
待ち時間を過ごす子どもたちの様子①（右）



背中で語らう少年たち（上）
待ち時間を過ごす子どもたちの様子②（左）

「おちゃのま」の取組は、NPO 法人 E-LINK 所属の大学生たちが、地域のお寺や企業と協働して実施している事業です。この取組を地域の方々にも知っていただき、地域の方々も自由に参加・協力できるコミュニティをつくりたいというお話を伺えました。今後、生活支援推進員は、地域の方々からの理解や参加・協力の仕組みづくりの点で関わらせていただきたいと思います。